

研修旅行作品から



「霊魂の里」(忍山) 石橋藤野(東京都葛飾区高砂)



「鷗穴」(厳美) 佐久間清
(川崎市立西生田中)

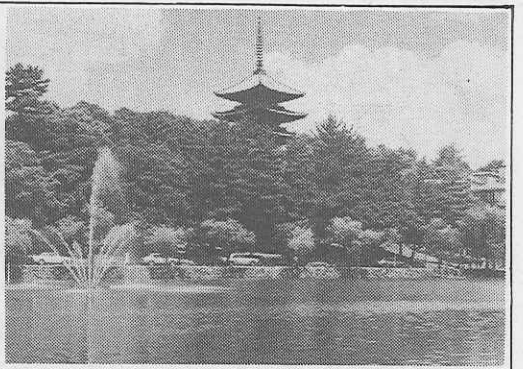
60年度教職員研修旅行 写真コンクール入選作

（財）全国修学旅行研究協会 二十日全修協本部にて写真部（教育研修企画主催）の夏季門の審査会を開き、掲載の四教職員研修旅行、作品募集点の入選作を決定した。今年度は、全国から写真部門八十七点、紀行・詩歌などの原稿部門十五点の応募があり、九月

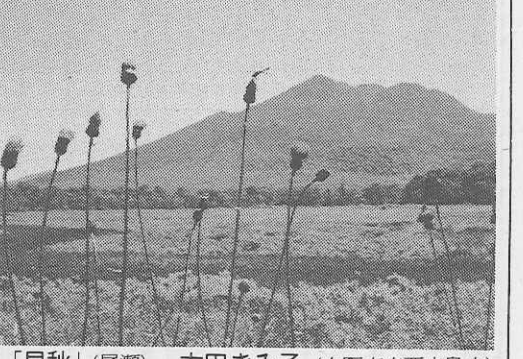
尾瀬の花

大川原 順子
(新潟県立川口小学校)

大清水に到着。午後一時半、真夏の太陽が照りつけ、ラギラの太陽の下で、さわやかな涼しい感じの花。木にからみ、一番最初に目に入った花は、キ



「猿沢池」 鶴巻 悠 (東京都板橋区立志村三中)



「早秋」(尾瀬) 太田きみ子 (大阪市立西中島小)

い花をつけた岩ガミ。山道の両端に咲くシンのようなナツラン。水分の多い所に群れて咲くオカラコ。笹やぶの中に白く浮き出たように咲くトリフシヨウマ。汗が流れ始めた。ウグイスが歓迎の声をはりあげている。大清水から三平峠まで、石のころころした山道を歩き続ける。二時間半。追いつかれ、置いていかれ、前後に人の影がなくなり、しばらくして反対側からの登山者が二人にちはと声をかけて通り過ぎ行く。

尾瀬沼が見えた時の「うわっ。パンザイ。」といった気持ち。汗がリュックにまじり込んでいたのに、体中の汗が引いていくような感じ。少し休憩し、長蔵小屋に向かう。尾瀬沼のほとりへ行く。大きな水芭蕉の葉があちこちに見える。ニッコウキスゲの名残りの花が咲いている。濃い紫の花がずっと咲き続ける。コバギボシ。アザミに似た花。時々、フクロコウが飛んでいる。五時すぎ、ようやく長蔵小屋にたどり着く。尾瀬沼に夕日が沈み、湖の水面が夕日に映えて美しい。徐々に黒い部分がなくなると、いつの間にか夜のようになり、いつの間にか夏の夜を忘れたような涼しさ。山小屋の静かな夕食も終わり、暗い夜が来た。明日の朝の早い出発のために、みんな早く眠るにつく。

朝、五時起床。五時半朝食。六時出発。重い荷を背負い、水筒には、山の冷たい水を一杯に詰めて、宿で求めた尾瀬の花の本を片手に歩き出す。尾瀬特有の花をさがすに、講師の方から聞こうと思いつく。岩オトギ

川橋は橋脚の高さ七十五・七メートルと日本一。太平洋側と日本海側を初めて直結したこの自動車道は、東京・新潟間の所要時間を約三時間半に短縮し、新幹線に見離された沼田、水上や小出にもインターチェンジができて、観光と産業の大動脈として大いに期待される。

関越自動車道全通

十月二日、関越自動車道の前橋・湯沢間が開通。東京・練馬から新潟・黒埼までが全通した。谷川岳の下を貫く関越トンネルは全長一〇・九キロで自動車道では日本一、群馬県の水井

科学万博が閉幕

学生団体入場者184万名

(財)全修協に感謝状

三月十七日から半年間、筑波科学万博が開催された国際科学技術博覧会は、目標の二千万名を超す入場者数と数々の話題を呼んで九月十六日閉幕した。財団法人国際科学技術博覧会協会の中間集計によれば、博覧会の総入場者数は二千三百三十三万五千名、うち学生団体は百八十四万五千名、全体の九割であった。その内訳は、幼稚園七千名、小学校二十九万一千名、中学校七十一万六千名、高校(専門専修を含む)八十一万六千名で、地方別では地元関東が百四十七万

京都の寺院 拝観料値上げ

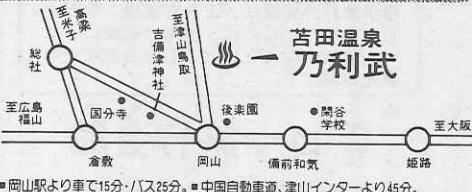
京都仏教会加盟の寺院では、十月から拝観料を値上げすることになった。十年以上も料金を据置けていたところもあり、値上げ額は五十〜一百円、ほとんどが古刹で相当額を上回る。また、団体割引制度を廃止して学生団体料金が二百二十円(百六十円値上げ)となる寺院もある。対象の寺院はつぎのとおり

●十月一日から実施 泉涌寺、十月十五日から実施 清水寺、金閣寺、銀閣寺、広隆寺、三学院、青蓮院、臨心院、東福寺、二尊院、受戒院、蓮華寺、また、高山寺は拝観料の他、入山料大人200円、高校生以下100円が必要。

自主研修ガイドブック マイプランニング京都

修学旅行中に自主見学を行う学校が増えているが、近畿日本ツーリスト(株)ではこのほど京都での自主研修のガイドブックとして「マイプランニング京都」を作成した。A5判・本文36ページのこの冊子には、京都乗物徹底研究、マイチャート洛中・

山陽路 岡山のお宿

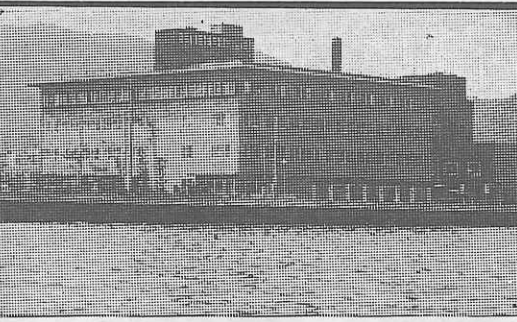


10,000坪の庭園を擁し、おもちゃつき、また、ファイアーストームを囲んでのフォークダンスなど、楽しいリクリエーションタイムをご用意して、皆様方をお待ち申し上げております。(500名可能)

昼食休憩・ガーデンパーティーもご予約を承ります。

政府登録国際観光旅館
とまた
乃利武
乃利武

〒701-11 岡山市栢谷1453
☎086294-2321 TELEX. 5922-621



いらっしやいませ
びわ湖国定公園
近江路の旅へ

収容 600名様
浴場 150名様
設備 全館冷暖房
防災 諸設備完備
駐車場 バス20台

政府登録
国際観光旅館 びわ湖門-リスト-ホテル

大津市におの浜3丁目2-25 電話 大津(0775)24-2321

育てる心は、みんな同じ。



●営業受付時間
9:00~17:00 (3月16日~11月15日)
9:30~16:00 (11月16日~3月15日)
●修学旅行料金 高校生 1,000円
中学生 700円、小学生 600円
ガイドラジオ
バス1台につき1,000円

別府あじむ草原
アフリカンサファリ
〒872-07 大分県宇佐郡安国院町大字南畑
☎(09784) 8-2 3 3 1 (代)

大阪・神戸 直行便 別府



修学旅行に
貸切専用外航純客船
さんふらわあ7も
ご利用ください。

大阪南港 19.00発 神戸中突堤 20.30発 別府 8.00着
8.20着 6.50着 19.20発
営業部営業課 大阪市北区梅田1-1 ☎(06)344-7031
東京支社 東京都中央区八重洲1-4-14 ☎(03)274-4273
及び各支店、営業所、旅行代理店へ

くらし観光グループ
関西汽船

中国再訪の印象

(3)

大運河

近畿日本ツーリスト株式会社
修学旅行部長

天野 明 夫



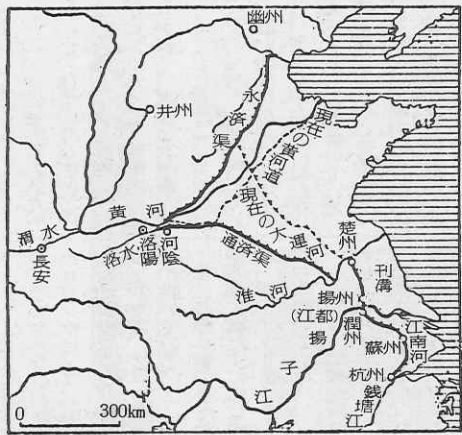
大運河を行く貨物船の列

蘇州は、上海から急行列車で約一時間半の距離にある。夕陽迫る上海駅を十九時二十四分に出発した三四六直快は、二十時三十分定刻より蘇州駅のプラットフォームに滑り込んだ。足下を照らす、電灯の光が仄暗い。駅前広場に置かれた私達のバスの周りは暑気を逃れて佇む、蹲る人々で溢れ、橙色の常夜灯が、その人影をぼんやりと映しだしている。

四つの近代化(農・工・国防・科学技術)政策を足早に進める中国は、二年前の訪中時と同様、相変わらず基幹エネルギー・電力不足に悩んでいるという印象を受けた。

明くる朝、蘇州賓館の自室の窓から眺めた街々は、前後と打って変って、江南の明るい夏空の下に、細かく縦横に区切られた運河の上を浮かんで、橋も木もその木々の緑が目鮮明に映っていた。

「天有天堂、下有蘇杭」——天に極楽があるように、地に蘇州と杭州がある。蘇州は、杭州と並ぶ景勝の地で、「東洋のベニス」と呼ばれる水の都である。蘇州を巡る「大運河」が開鑿されたのは、統一国家、大唐世宗皇帝三〇〇年の門を開いた隋の時代であり、工事を完成させたのは、二代皇帝煬帝であった。煬帝はその治世十二年間に、大隋帝国の建設と皇威を誇示するために、次々と驚くべき物産と人力を投じて大土木工事を行ったが、帝位についた翌六〇五年、元号を「大業」と改元、三月河南、淮北一帯の百万人を動



隋代運河図

員して、帝都洛陽から穀・洛二水を引いて黄河に入れ、淮河とつなぐ通済渠の工事を開始、ついで淮南一帯の十万人を集めて、黄河の水を引いて、汴水、泗水を通じて揚子江岸の江都(揚州)をつなぐ刊漕の改修工事を行った。洛陽と江都の揚子江の二大河が通ずるという夢が実現したのである。

「大運河」は、淮河と称され、岸にそって柳を植え、御道を築き、江都までの間に美女を置いた四十名の離宮を造らせた。

完成した秋八月、煬帝は水路洛陽から江都に至る。座乗する御船「龍舟」は、高さ四十五尺、長さ三百尺、四層造りで、上層に正殿、中層に段々、二〇余の部屋があり、すべて金銀珠玉で飾られた。従った舟は、皇后・諸王・公主・後宮・百官・僧尼・外国使臣、護衛の兵船を合わせて数千隻に及び、付近の農村から取り出された舟の曳き手が八万人、岸には騎兵が列をつくって竜舟に随従するという盛況を築いた。

その後、大業四年(六〇八年)黄河と北京を結ぶ永濟渠を、その二年後に江都対岸の鎮江から杭州にいたる江南河が開かれ、これで平均幅三〇・五メートル、全長一五〇〇キロの驚嘆すべき京杭「大運河」がわずか四年という短期間で完成したのである。

推古天皇十五年(六〇七年)聖德太子の命で渡唐した小野妹子や、舒明天皇二年(六三〇年)の第一回から、平安初期(八三四年)まで、前後十七回にわたった遣唐使・留学生も、多分この大運河を利用して、多分この水路を洛陽へ長安へ開封へと、文化を求めて旅したのである。

煬帝の栄華と、遣唐使留学生に夢を馳せて、私達は古城壁址の盤門から「大運河」を船で寒山寺へと溯行した。

市内の運河沿いには、白壁の家々が軒を接し、戸間の樹々の緑が対称的に水面に映えて美しい。古い石造りの太鼓橋の下を小船がゆつくりと動いてゆく。市内を囲う外城河を、間門で直角に曲がると城外に出る。運河の両岸は土堤で築かれ、

その向うには見渡す限り一望の水田が広がっている。

この江都の水豊かな沃地一帯は「蘇州常州実には天下に幾なし」と言われる中国第一の米の産地である。

流れに沿って上下に行き交う船の群れは、長さ三、四メートルにも及ぶ船を数隻つなぎ合わせた長い列の貨物船、夫が機関を操り妻が舵をとり子供が船べりで遊ぶ貨物船、昔ながらの帆かけ舟、老若それぞれの夫婦が一つの舟に紐を掛けて跳ぶように漕いでゆく小舟、そして船上に目をやると、立ったまま茶碗の中の食べものをかき込む娘さん、盥で洗濯をし、張った紐に衣服を干している婦人、黙って煙草をふかしながら、じつとこちらをみている老人などが目に写る。

貧富、老若、男女とり混ぜた人々の生活の場が、そこにはあった。

煬帝帝遊の「大運河」は、「浮雲流水」悠々の流れの中に、昔も今も、何一つ変わることのないようにみえた。

首都東京を見て、何かを!

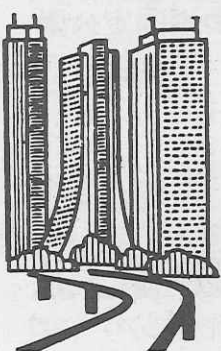
学校単位の貸切りで
ご利用下さい

30年の経験を生かす 50旅館 8000名収容

本郷の旅館へ

本郷旅館協同組合

〒113 東京都文京区本郷4-36-3 TEL 03-813-9381



赤膚焼の話を聞く

窯墨 北山杉 借景

関修委現地研修会レポ(2)

全修協参事 澤田 克郎

関東地区公立中学校修学旅行委員会では毎年現地研修会を行っており、本年は八月七日から九日まで、古都松尾とグループ

見学を主眼点に現地研修会を実施した。

八日、八日(木) 宿「赤膚焼」古梅園「美濃幸」大徳寺真珠庵「ようさん庭園」二ノ松園(協議会) 赤膚焼 小堀遠州七郎の二つ四百年の伝統を誇るという、七代窯元の大徳正人氏に話を聞く。我々を前に「皆さんはお若いから立っておいでもよろしいが、私の方が年寄りだから座らせてもらいまっせ」開口一番、風貌が印象的、特に赤膚の名、木白にふれ「眞物をつかみなさんな、私の眼はごまかせない」

と、熱く語りつづけた。登り窯を見、奈良市内を汗をふきき歩く。

古梅園 創業四百年、現在十四世が墨の心として墨づくりをしている。

「墨の香や奈良の都の古梅園」お花墨といえは習字の時間を思い出す。季節柄今は採蓮の作業中。工場はいろいろな工程をこなすべく奥深い寝床より小さな部屋が続く。採煙機も一つの衣服といわす、顔、手をまっ黒にした工員が暑い仕事。スライドで墨づくりの工程を見せられて。赤膚も古梅園も中学生は今のところ見学なし。高校生のグループが若干とか。烈日の庭に來竹桃が大胆不敵に咲いていた。

バスの中ではガイドの説明を甲子園の開会式、旭川対大社の試合に眼をやりながら聞き、京都へ入る。

清水の五条坂は古都保存協力税紛争の影響で人影もまばら。五條通りでは陶器市の最中、五百店が五割引きでぎわっている。

八坂神社の境内を通り低層の料亭美濃幸で「お茶箱弁当」の昼食。

大徳寺真珠庵 自慢の叡山の借景、一休和尚の木像、狩野派の襖絵等拝観した。

しよざん庭園 大文字山を左に見て紙屋川を北へ鷹が峰の山麓、新しい観光地の一つ。北山杉(杉材)約三千株、三百年、三百年の樹齢、垂木材の樹林、染物会館、プール、レストラン等、修旅の屋敷場だろうか。秀吉が造ったという「御土居」も部分的に残っていた。

ホテル二ノ松園で、関係業者との話し合い、京都観光課長門田氏より古都保存税の経過と今後の見通しについて話を聞いた。最中電話が入り、市長と市議代表が手をつなぐ。由、正にアツクタイミンク。旅館代表、バス会社、弁当屋等々、京都の食事は、新しい観光プラザ等々約一時間、我々の質問に答えてくれる。もっと時間が欲しいという声が毎時出るが、どうしてもその時間を生み出すのがむずかしい。

第三日 八月九日(金) 宿「鞍馬山」円通寺「ホテル」鞍馬山 貴船川を上る狭い道、大型バスのすれ違いがいが出来ず、バックしたりしてあまり距離はなさそうだが時間がかかった。京福電鉄鞍馬線が出町柳から鞍馬まで走っている。「牛若丸が通いしかけ路馬木立」紅葉する木が多いので秋はにぎわうところ。王門からテール、十分程のアルパイトで本殿金堂、狛犬ならぬ狛虎が意表を突くが、見守り門が尊天の一体であらうなすける。鉄幹、晶子の書斎、歌碑から奥の院、貴船神社へのハイキングも一時間程とか。

円通寺 国際会議場の西方隣に後水尾上皇山荘の一つ大悲山、円通寺の勸額を有する枯山水四百坪の名園、しかも素晴らしい比叡山の麗姿を借景している。京洛に名園多しといえども全き借景はこのみではなからうか。開発や都市化がビル等の介入を余儀なくしつつある現在、いつまでこの昔のままの様相を残せるのか。本尊十一

面観音を拝見視線に「微笑にまぎらな化粧なし」と墨書してあった。かきり気のない寺の眞髓をここに見たような気がした。嵐山のホテル嵐屋で昼食、一泊、五万五千円より、保津川下り嵯峨野めぐりの宿に奥さん同道に格好との声あり。もっとも共済組合の「花の家」も近くに。想天恋でも口ずさみながら渡月橋あたりを道通するのでもよからう。十四時四十八分発で京都へ戻る。

東京コマ旅行会館は
第8回優秀防火建築表彰で
建設大臣賞を受賞いたしました。
東京でのお泊りは
安全設備を誇る当会館へ。

東京タワー、国会議事堂を間近に望む東京の中心にあり、8階建の近代ビルで、修学旅行の皆様により有意義な旅行をしていただくために、清潔で低廉に、しかも最新の設備をほどこした全館和室の観光旅館です。

東京 コマ旅行会館

ホテル(全館和室)
東京都港区六本木1丁目7番地
TEL (03)585-1046(代表)

「今日」に触れ、学び、修める、モトピア体験。

興味こそ学びの原点。モータリゼーションへの興味を通して、若者のこころに語りかける有意義な修学旅行が、多くのご支持をいただいています。

エンジン教室、工場見学、実際に運転できるのりもの…。ゆたかな自然のなかで、触れて、確かめて、楽しみながら理解する。それがモトピアでの修学旅行です。鈴鹿サーキット、多摩テックには、そんな意義深い体験を快適なものにする施設がいろいろ。リラックスできる専用ホテルでのお食事や、キャンプ場での野外炊飯をはじめ、旅の夜を彩るファイア・ストームの解放感に、忘れ難い思い出がつけられることでしょう。



防火優秀施設 消防長官賞受賞

陽気なビッグ・レジャーランド
鈴鹿サーキット〒510-02 三重県鈴鹿市稲生町7992/☎(0593)78-1111
●名古屋または大阪より近鉄特急白子駅下車徒歩バス
スズカから京・奈良・伊勢・志摩へ62時間の距離。
未来と過去を結ぶ理想の修学旅行コースです。緑のモトピア
多摩テック〒191 東京都日野市程久保1/☎(0425)91-0820
●京王線多摩動物公園駅下車徒歩バスご視察のお申し込み、資料ご請求は…
ホムダラボ名古屋営業所/修学旅行課:〒450 名古屋市中村区名駅3-12-12
竹生ビル☎(052)571-7175
本社/東京営業所:〒104 東京都中央区八重洲2-6-20
ホンダ八重洲ビル☎(03)274-5821
大阪営業所:〒530 大阪市北区芝田2-6-30
梅田清和ビル2F ☎(06)372-1526